

総合的な学習「災害時の行動を考えよう」学習指導案

首都大学東京 学術情報基盤センター 畠山 久, 柴山 愛

1. 日時 平成 27 年 9 月 3 日 (木) 13:25 ~ 15:25 (5・6 時限 120 分)
2. 場所 各教室・校庭
3. 対象 1 年生 (28 名×4 クラス合同)
4. 単元名 災害時の行動を考えよう
5. 単元の目標
 - ・ 身近な地域に潜む危険性に気づき、防災への意識を高める (関心・意欲・態度)
 - ・ 災害時の状況をイメージし、避難行動を考える (思考・判断・表現)
 - ・ 知識を基に身の回りの状況を観察し、必要に応じて情報を収集する (観察・調査技術)
 - ・ 防災の基礎知識を習得すると共に、地域特性に基づく災害時の行動を理解する (知識・理解)

6. 指導計画

期日	回	時限	学習内容	学習活動
9/3 (木)	1	5・6 限 (120 分)	基礎的知識の学習	防災に関する基礎的な知識と、学習支援システムの操作方法を学ぶ。
10/8 (木)	2	SU・5・6 限 (130 分)	野外での学習と 振り返り (1)	グループごとに学校周辺を調査し、訓練において避難行動をとる。
11/5 (木)	3	SU・5・6 限 (130 分)	野外での学習と 振り返り (2)	グループごとに学校周辺を調査し、訓練において避難行動をとる。
11/21 (土)	4	全日	発表・講演会	まとめた結果を発表し、災害時にとるべき判断・行動について理解する。

7. 本時の学習

(1) 題材名 防災関連の基礎知識を学ぼう

(2) 目標

防災に関する基礎的な知識と、富津市を中心とした千葉県の地形・地質的な特性を学ぶ。また、校庭でのグループ活動を通じて、学習支援システムの操作方法を習得する。

(3) 教材・資料

- ・ 防災学習教材 (映像教材)
- ・ 小冊子「災害に備えるための防災知識」
- ・ ビデオ用穴埋めプリント
- ・ ワーク用プリント (個人用 1 枚、グループ用 1 枚)
- ・ タブレット端末 (学習支援システム用)

8. 展開 (晴天時)

時間	学習活動	指導上の留意点
<p>導入 13:25 5分</p>	<p><u>学習の準備を整える</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 筆記用具を用意する <p><u>学習内容を確認する</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 単元全体の学習内容について説明を受ける 5校時は教室での学習, 6校時はグラウンドでの避難行動であることを確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 各教室にプロジェクターとスクリーンを設置する 学習資料を配布する 小冊子に基づき説明する 「日頃の防災訓練では校舎内の対応, 今回の防災学習は校舎外も含めた対応」など, 日頃の訓練との関連についても意識させる
<p>展開① 13:30 20分</p>	<p>☆ 小冊子を参照しながら説明を聞く</p> <p><u>映像教材の視聴 (15分)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 1人1枚、穴埋めプリントを受け取る 資料の空欄に書き込みながらビデオを視聴する 大きな影響が考えられる災害 (地震・津波・洪水) のうち、地震災害が起こった際の避難行動について学ぶ 富津地域の地形・地質的概要と、自然災害との関わりについて学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> 小冊子を参考に, 今回の学習の目的である「自分で判断する」避難行動の必要性を説明する 自分で判断をする際に必要となる基礎的な防災知識を, ビデオを通じて学習させる ビデオを見ながらプリントの穴埋めをするよう指示する 冊子も参照するよう指示する
<p>展開② 13:50 25分</p>	<p><u>説明・個人ワーク用プリント配布</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 1人1枚プリントを受け取る プリントに、クラス、番号、名前を書く <div data-bbox="392 1738 1334 1872" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>課題：「災害時の行動を考えよう」</p> <p>災害が起こった際に危険なものをみつける + なぜ危険なのか考える</p> </div> <p><u>個人ワーク</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 指名された生徒が、問題文を読み上げる 	<ul style="list-style-type: none"> 9月から11月までの防災教育では、災害が起こった後の避難に焦点を当てて学習を行うことを説明する 今から行うワークは、最初は個人で行い、その後グループごとに意見を集約する流れで行うことを説明する 制限時間が3分であることを伝える

<ul style="list-style-type: none"> 個人で課題に取り組む 3分経ったら一旦ペンを置く <p><u>グループワーク</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 机を移動して防災学習用グループの机配置にする 各グループの場所に生徒が移動する 各グループ1枚ずつグループワーク用のプリントを受け取り、グループ全員の名前を記入する 先ほど個人で取り組んだワークで書いた意見を集約し、プリントに書く <ul style="list-style-type: none"> 5分経ったら一旦ペンを置く <p><u>まとめ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 出た意見の数を答える <ul style="list-style-type: none"> グループの代表がプリントを集め、提出する 	<ul style="list-style-type: none"> 時計を利用し、制限時間を意識させる 赤ペンで書き込むよう指示する まだ書き終わってなくても、3分で一旦終了させる <ul style="list-style-type: none"> あらかじめ4人グループ（防災学習用）を作成しておく 筆記用具と今使用したワークシートのみを持っていくよう指示する <ul style="list-style-type: none"> 個人での意見だけでなく、話し合った結果、追加で出た意見も記入するよう指示する 後で意見の個数を各グループに聞くことを伝える 制限時間が5分であることを伝える 時計を利用し、制限時間を意識させる 様子を見て、まだ書き終わっていない様であれば、さらに2分程度延長する <ul style="list-style-type: none"> 各グループで出た意見の数を聞き、黒板に書く 避難行動は揺れた直後の行動と異なり、地域によって危険なものが異なることを振り返る 地震が起こった際に、周りの状況をよく観察し、自ら判断し避難行動をとることが、自分の身を守るために必要なことだということを理解させる 実際にこれからの防災学習では、タブレット端末を利用して避難行動の途中で潜む危険を見つけることを伝える 他のグループで出た意見は、クラスごと 	<ul style="list-style-type: none"> 時計を利用し、制限時間を意識させる 赤ペンで書き込むよう指示する まだ書き終わってなくても、3分で一旦終了させる <ul style="list-style-type: none"> あらかじめ4人グループ（防災学習用）を作成しておく 筆記用具と今使用したワークシートのみを持っていくよう指示する <ul style="list-style-type: none"> 個人での意見だけでなく、話し合った結果、追加で出た意見も記入するよう指示する 後で意見の個数を各グループに聞くことを伝える 制限時間が5分であることを伝える 時計を利用し、制限時間を意識させる 様子を見て、まだ書き終わっていない様であれば、さらに2分程度延長する <ul style="list-style-type: none"> 各グループで出た意見の数を聞き、黒板に書く 避難行動は揺れた直後の行動と異なり、地域によって危険なものが異なることを振り返る 地震が起こった際に、周りの状況をよく観察し、自ら判断し避難行動をとることが、自分の身を守るために必要なことだということを理解させる 実際にこれからの防災学習では、タブレット端末を利用して避難行動の途中で潜む危険を見つけることを伝える 他のグループで出た意見は、クラスごと
--	---	---

		にプリントでまとめ、後日シェアすることを伝える
展開③ 14:15 15分	<u>システムの利用方法</u> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な操作法の説明を受ける <u>避難行動の説明</u> <ul style="list-style-type: none"> グラウンドでの避難行動の進め方を理解する 	☆ 各クラスに1名ずつ研究スタッフを配置 <ul style="list-style-type: none"> 各グループに1台タブレット端末を配布する 操作に関する質問は研究スタッフが対応する グループごとにタブレット端末を持参し、グラウンドで避難行動を行う旨説明する
休憩・移動 14:30 10分	☆ 休憩時間内に校庭に移動する	<ul style="list-style-type: none"> 休憩後はグループごとに校庭集合とする タブレット端末を携行するよう指示する
説明 14:40 10分	☆ 校庭にグループごとに並んで集合する <u>避難行動の説明</u> <ul style="list-style-type: none"> 避難行動の進め方を確認する 集合時間を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 各グループの様子を見ながらスタッフが巡回し、操作に戸惑っている場合はサポートする 「ひとりが操作し続けるのではなく、交代するように」と指示する
避難行動 14:50 35分	☆ 端末を持ち、グループごとに避難行動を行う <u>システムを用いた避難行動</u> <ul style="list-style-type: none"> 学校敷地内のチェックポイントをまわる メンバーで協力しながら、システムの指示に沿って情報を入力していく ☆ 15時20分までに集合体形に戻る	<ul style="list-style-type: none"> スタッフは各チェックポイント付近で生徒の学習をサポートする 終了10分前・5分前に拡声器でアナウンスをする 終了時、校庭に残っているグループに声を掛けて移動を促す
まとめ 15:20 5分	☆ 校庭にグループごとに並んで集合する <ul style="list-style-type: none"> グループごとに入力した情報を端末上で確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 全てのグループが戻ってきているか確認する 全員が揃うまで、簡単な振り返りをするように各グループに指示する

	<p><u>本日の授業のまとめ</u></p> <ul style="list-style-type: none">• 数名を指名し、本時の感想を聞く• 前半で学んだ防災知識を思い返す	<ul style="list-style-type: none">• 「災害が起きたときをイメージして危険性や安全性を考えられましたか？」と数名に尋ねる• 端末を回収する
--	---	---